



2月28日に実施しました地域総合防災訓練「Mission Impossible1chu-BOSAI」にご協力いただきました、先生方、地域ボランティア、保護者ボランティアのみなさま、心から感謝申し上げます。

- ・今までで一番の防災訓練だった！と息子が話しています！
- ・マンホールトイレの話ずっとしています！
- ・1、2年生と一緒にだったから、しっかりしないと！と思った。

などの感想をいただきました。

初めての試みかつ、大風呂敷を広げた企画でしたので、イベント終了まで心配はつきませんでした。先生はもとより、ご協力いただいたみなさま個人の力と組織力が合わさり、生徒たちは、目標に掲げた「自分で考えて、自分で動く」「楽しく防災知識を身につける」ことができたと思います。わたしに直接「ナイスです！」「ありがとうございました！」と声をかけてくれる生徒も多く、一中学生の素直な反応がとても嬉しかったです。

来年度も実施する方向で動いていますので、ぜひぜひ保護者のみなさま、地域のみなさまのご参加をお待ちしています！

眞田ゆり

3月4日（水）第10回学校運営協議会を開催しました。

出席者：＜委員＞

石代校長・倉富会長・蒲委員・野島委員・金田委員・眞田委員・森山副校長（八王子東特別支援学校）  
＜教職員・オブザーバー＞

宮内副校長・深田教諭・小俣教諭・秋山教諭・小島教諭

【学校コーディネーター】江浦さん

### 生徒の様子

深田先生（1年学年主任）

学年目標「素直に」、体験学習の充実、異文化交流・働くことを考えるワークショップに力を入れてきた。指示されたことはできるが、主体性の不足、周りの反応を恐れて意見が言えない、生活面での未熟さには課題が残る。

小俣先生（2年学年主任）

仲間内のノリでやってきたことを、立ち止まって見直す姿勢が出てきた。3年生への自覚の表れ。この波に乗れない子をどう導いていくかが課題。

秋山先生（3年学年主任）

155名全員の進路が決定。しかし気持ちのゆるみが見られる。卒業までカウントダウンに入っているため、良い卒業式が迎えられたい。

小島先生（7組主任）

毎年7組の生徒の人数が増えている。1～5組との交流を深め、Cafeや新入生の配布物の準備など、学校みんなに喜ばれる活動を充実させて卒業までに生きていく力をつけてほしい。

## 協議事項

- 学校評価アンケート結果について

今回も回収率が低かったことが課題。どうやったら回収率が上がるのかを考えていく必要がある。

- 地域総合防災訓練の反省

<深田先生より>

「自分で考えて、自分で動く」には、生徒はまだ育ちきっていない。指示を明確に伝えることが必要。主体性を引き出す指導が必要。

<小俣先生より>

「缶切りで缶をあける」ミッションを担当したが、想像以上にできない生徒が多かった。缶切りを使う際に用意した軍手を使用する生徒はほとんどいなかったが、安全指導は必要。結果としてけが人も出さなかった。

<秋山先生より>

「(給水所から)水を運ぶ」ミッションを担当したが、チームによって協力できる度合いに非常にばらつきがあった。3学年主任としては3年生にチームを引っ張ってほしかったが、1年生、2年生が引っ張るチームもあった。いろいろと自分たちで考えて動くことがよかった。

<小島先生より>

7組の生徒は見通しを持ってないと不安を覚えたり、知らない生徒と共に行動することに不安を覚えたりする生徒が多い。1チームに、7組の生徒を二人ずつ入れてチーム編成をしてもらったものの、今回の「忖度なしの縦割り班」で、「自分たちで選んで防災ミッションをクリアする」という実施方式に大変な不安があった。しかし、実際の災害時にはそんなことは言っていられないのでチャレンジした。結果、チームメイトが親切に接してくれて、ミッションを楽しんでおこなうことができたのは、大きな自信になったと思う。

